

KPG

# 18色UVフレキシオン 欧州出荷へ

## アニロックススリーブを新開発

KPG(株)(東京都台東区台東、☎03・38834・2560、鈴木英也社長)

はこのほど、国産のアニロックススリーブなど複数の新技術を搭載した18色UVフレキシオン印刷機「EUROFLEX250」/CASTING PRESSESを製造。

軟包材に全面360度印刷が可能な機種として、4月に欧州最大でポーランドの

フィルム印刷会社に納品するほか、続けて2台を6月にロシアの大手ソーセージケーシング印刷会社に納品する。

同機は、ラベルから軟包材までに対応するチロウエプ印刷機だが、今回は欧州市場に供給されるハムやソーセージ向けケーシングの製造を主目的に製造された。色数は、ユーザーの意

向よりの18色機となっており、表9色+裏9色または、表18色の双方に対応する。

今回KPGは、同印刷機メーカーの東洋工業と共同で、新技術のソリッドメタル製「アニロックススリーブ」を開発。単一素材品として開発されているため熱による膨張もなく、印刷精度の向上が実現される。プラスチックを芯材とした複

依存度が高く、選択の自由度が低く高コストであり、納期の長期化なども課題として挙げられていたが、今回の革新的なアニロックススリーブの開発により、100%国内調達が可能となり選択の自由度も広がる。さらに両社は、独自の「スリーブ交換方式」を開発。これにより、ジョブのクイックチェンジも可能にした。スリーブは、管理された予圧したベアリングで固定されるためびびりがなく、シャフトも強固で、印刷精度は一層向上するものとなっている。

一方、センタードラムには、欧州製で誤差が千分の5りと精度が良いものを採用。見当精度を安定させるために、常に一定の温度で管理する機構になっており、冷却だけでなく加温も可能となっている。

そのほか、今回ポーランドに出荷される印刷機の構成としては、ユーザーが24時間生産体制をしいている

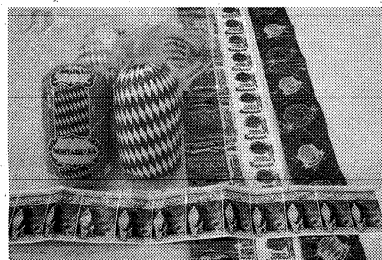
ことから前後にオートスライサー/リワインダーを搭載しているほか、自動見当、コロナ処理装置や両面ビデオ検査装置、ウエブカイド装置4台などを搭載。また、今回は、ユーザーの意向により小ロット対応のためオープンチャンバー方式にしているが、クローズドチャンバーにも対応可能となっている。

鈴木社長は「最近では東欧市場に活気があり、当社も複数台を納品している。当

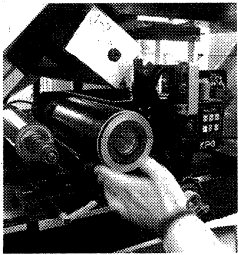
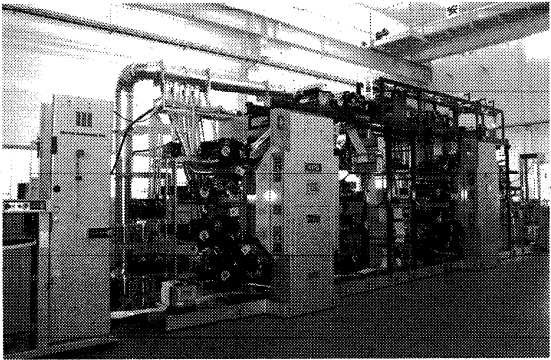
社は、国内外に凸輪、フレキシオン、コンヒネーション、RFIDコンバーティングマシンなど、ユーザーニーズに応じたカスタマイズ機を製造しているが、フレキシオン印刷機の受注も伸びてきている。

また、最近では、フレキシオン以外の凸版でもコールド箔をひく技術を開発、実現しており、今後もラベルを言

むチロウエプ印刷に貢献する新技術を開発し、印刷機への搭載を活性化させていきたい」と話している。



欧州では、UVフレキシオン印刷機はハムなどのケーシング印刷への活用も多い



2月に欧州企業へ出荷される「EUROFLEX250」(上)の着脱が簡単な新開発アニロックススリーブ構造が搭載されている

非常に簡単にスリーブは、海外製品への

また、従来のスリーブは、海外製品への